

平成 23 年度第 1 回豊橋市立小・中学校通学区域審議会 会議録要旨

- 1 開催日時 平成 23 年 9 月 8 日（木）午後 3 時～午後 4 時 30 分
- 2 開催場所 豊橋市役所東館 12 階 教育委員会室
- 3 出席者 委員 堀田伸一、杉浦正和、安田直樹、小松利恵、村川博美、村松伸郎、
曾根英臣、朝倉由美子、金仙宗哲 ※敬称略
事務局 加藤正俊（教育長）、石黒拓夫（教育部長）、鷺坂浩孝（教育部次長）、
加藤喜康（教育政策課長）、宮崎正道（学校教育課長）、
- 4 欠席委員 無し
- 5 議 事
進行：事務局教育政策課長
 - 1 教育長あいさつ
 - 2 委員の紹介
(堀田委員より順に自己紹介)
 - 3 役員の選任について
(互選により会長に朝倉由美子委員、副会長に金仙宗哲委員を選出)
進行：朝倉会長
 - 4 経過及び現状について
 - (1) 豊橋市立小・中学校通学区域審議会の主な経過について
 - (2) 学校別児童生徒数と学級数の推移（予測）について
 - (3) 特定地域隣接校選択制及び特認校制について
 - (4) 教育課題検討会議の設置について
(一括して事務局：教育政策課長より説明、質疑等は下記のとおり)
 - 5 その他
(朝倉会長：次回会議日程を調整のうえ連絡)

○主な意見、質問

<委員>

特定地域隣接校選択制は、数値を見ていくと一定の効果をあげているようだが、制度を続けていく上での課題は、どのようにとらえていますか。

⇒地元において、いろいろな課題が生じている地域があることは聞いています。今年度は、選択性に関係する地域を中心にアンケート調査を行う予定であり、その中で課題を整理して対応をしていきたいと考えています。

また、今年度から設置した教育課題検討会議において、学校の適正規模について今年度と来年度の 2 カ年をかけて議論を始めていますので、この会議の中で、選択性よりもより効果的な方法が提案されれば、そのことも検討していくことになると考えています。

<委員>

適正な学校規模について、教育課題検討会議で話し合いをしているとのことですが、通学区域について検討を行う会議なのですか。

⇒いいえ、違います。

今年度と来年度は適正な学校規模について検討を行っておりますので、通学区域に関係したことも議題になりますが、要綱にもありますように本市を取り巻く教育に関する課題全般を扱う会議としておりますので、適正な学校規模についてだけを話し合っているわけではありません。

⇒冒頭説明しましたように、通学区域の三原則 1) 学校規模の適正化、2) 通学の安全確保、3) 通学区域の明確化については、小・中学校通学区域審議会でも検討していただく事項になりますが、教育課題検討会議では、集中的に検討を行っていただく中で当然通学区域審議会委員のみなさんの意見も伺いながら答申のような形でまとめていただく予定です。

<委員>

選択制のアンケート結果などは、教えてもらえるのでしょうか。

⇒はい、次回の通学区域審議会ではお示しさせていただく予定です。

内容については、これから地元とも協議をしながら、つめていく予定です。